

山田町便り

今号は、我々静岡県派遣職員が日頃担当する業務を少し離れた話題を特集します。内容は・・・

1. 防波堤が台風で転倒！
2. 模型を利用した意見交換会
3. 風物詩、かき小屋がオープン
4. 「とっと」において♪
5. 季節の到来

です。

1. 防波堤が台風で転倒！

10月16日に三陸沖を通過した台風26号の影響により、小谷島漁港の南防波堤 L=60m（ケーソン3箇外1）が転倒しました。

防波堤は、港のなかの海面の穏やかさを保つことを目的とした施設であり、船の接岸や係留などを安全に行う上で、無くてはならない施設です。



【防波堤でいったい何が・・・】

山田町では、早速、災害復旧事業の手続きにはいり、岩手県を通じて水産庁へ報告しました。概算で約7億円の被害、ということもあり、事態を重くみた水産庁は、災害査定の前に、当箇所の事前調査を11月20日から22日に行うことを決定しました。

事前調査当日、水産庁の佐野課長補佐を筆頭に、

山田町派遣職員（交通基盤部）

平成25年12月発行（通算第8号）

岩手県漁港漁村課の担当者2名、岩手県宮古水産振興センターの担当者2名の計5名が現地入りしました。当方は、担当者の高山係長（派遣元：長崎県新上五島町）及び岩崎主査（派遣元：静岡市）の両名です。

現場視察では、佐野課長補佐と高山係長を中心に、図面と現場を照らし合わせながら、被災状況、原因、復旧工法案等を確認しました。



【高山係長(白服の方)による被災状況の説明】

その後、山田町役場に戻って、現場視察で得た情報や意見交換をもとに、復旧工法案の再確認、12月末に実施予定である災害査定の準備等について、打ち合わせを行いました。



【水産庁担当官(右中央)の助言に感謝！】

佐野課長補佐、並びに岩手県の担当者の皆様からは、懇切丁寧に、多くの助言をいただきました。感謝の念に堪えません。

私達技術職員としては、水産庁担当官の視点、考え方等を知ることができたこと、また、東海地震等からの復旧段階においても、こうした事例が発生する可能性があることから、今回の事前調査は、大変貴重な経験となりました。

2. 模型を利用した意見交換会

町では、11月24日、大浦地区の高台移転計画において、土地利用等について住民の意向を確認するため、意見交換会を行いました。

住民は、どこに何を求めているのか、それにはどの程度の面積の土地が必要なのか。こうしたことをわかりやすく示してもらい、位置等を記録するには模型が一番。そう考えて被災直後に当地の模型を製作した早稲田大学の協力を得て、高台移転計画の模型を作成し、意見交換会に臨みました。

ところが、期待に反し、出席者が模型のそばに近寄ることはなく、模型は計画説明などで使用されるのみ。住民との意思疎通を図るためには良い手段だと思ったのですが、どこか住民目線に欠けているところがあったようです。うーん。



【模型を利用してわかりやすく説明するも・・・】

3. 風物詩、かき小屋がオープン

11月2日、「三陸山田かき小屋」がオープンし、「かきの食べ放題（40分、大人2,500円、

小学生1,500円）」を楽しむことができる時節となりました。

私、初日に福島県派遣のK氏と当店を訪れ、相席のご夫婦（横浜市在住）と共に、とれたての山田湾のかきを堪能しました。

季節初めのため、かきは小粒。それでも「かきのノルマ30個」と「大量のしゅうり（初日限定）」により、私は途中でギブアップ・・・。



【巨大かき(通常約2倍)にご満悦のK氏】

食事の途中、相棒のK氏と相席のご夫婦が、読売新聞社の取材を受けました。ところが、翌日の読売新聞朝刊には、なぜか私の写真。すでに「満腹」を超えており、気持ちが悪い状態だったのですが・・・。

かき小屋は山田町の風物詩。是非一度、「山田町」のかき小屋にて、新鮮で旨味たっぷりの「山田湾のかき」を堪能してください。本当に美味しいですよ！（予約が必要です）

4. 「とっと」において♪

AKB48グループは、いろいろな活動を通じて沿岸被災地域の応援活動を行っています。山田町では、今年の3月11日、山田高等学校においてミニコンサートが開かれ、招待された地元の小中高の生徒達（父兄を含めて1,000人超）が、楽しいひと時を過ごしました。

本年の山田祭初日の9月14日、6人のメンバーが来町され、ミニコンサートを開催。また、コンサートの前には、やまだ観光物産館「とっと」

に設置されている「やまだまち48」という「子供たちが考えた未来の山田町」の模型を見学しました。

「やまだまち48」では、指先サイズの人の模型を設置することで、町の住民になることができます（無料）。現在の人口は1,800人（11月26日現在）。目標は「1万人」ですから、まだまだ先が長いですね。

ちなみに、AKB48グループのメンバー10人が住人となっています。さて、この10人は誰でしょう？（答えは欄外にあります）



【AKB 通り 噂のナイトモードは御自身の目で♪】

また、「とっと」には、AKB48グループの被災地応援の活動を記録した写真パネル、9月14日来町したメンバーの写真&サインなどが展示されています。ファンの方々に限らず、多くの人に訪れていただきたいと思います。



【来町したメンバーのサイン色紙が！】



【今年の山田祭での一コマ（じゃんけん大会）】

5. 季節の到来



11月13日、宮古市内の宿舎付近はうっすらと雪化粧（今季初）。また、この日の深夜は、国道沿いの温度計は、「-6℃」を表示していました。その後、数日で平年並みの気温に戻りましたが、東北の厳しい冬を感じる1日となりました。

編集後記



今回の特集、いかがでしたでしょうか。「復興」は、人が生活を営むことができる状態に回復することだと思います。そのためには、人が集い、賑わいを創造する仕組みも大切。この点も「事前復興」に含める必要がある、と感じました。

発行：岩手県山田町水産商工課水産チーム

電話：0193-82-3111(代) FAX：0193-82-2302